

# 徳島大学総合科学部モラエス研究会例会・読書会のご案内

徳島大学総合科学部  
宮崎隆義  
佐藤征弥  
境 泉洋

秋冷の候となりましたが、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。

前回9月15日(土)の研究会例会は、徳島大学本部(新蔵町)にある「ガレリア新蔵」でのモラエスの展示見学も兼ね、3階にある放送大学の講義室をお借りしての研究例会・読書会とさせていただきます。「日本の異国情調」を巡って、ハーン、ロチ、ゴングールなどと比較してモラエスの心性についてのお話となりました。また、この度のモラエスの展示の準備の過程で、特に第3期のモラエス顕彰に関わって、当時の新聞記事など改めて紹介していただきました。また、モラエスの遺書についても、翻訳などを通して考えると、ポルトガル語で書かれた通りにモラエスの遺志が実現されたのか、疑問も浮かんでまいりました。また、お墓についても、時の経過による変遷で何かと不明な点が多々あるようで驚かされました。

展示は現在開催中ですが、11月30日までの予定が、12月中旬まで延期となります。といたしますのも、12月7日に、藤原正彦先生を徳島にお迎えして講演会が実現することになり、その関係です。講演会については、もうすでに新聞紙上に公表されておりますが、チラシ等でもまた広報されます。

さらにまた、ポルトガル協会のご尽力で、展示室の隅に、眉山山頂にあるモラエス像の鋳型原型レプリカが置かれています。ぜひ一度足をお運びいただきご覧いただけましたら幸いです。

読書会は、これまでと同様に、行きつ戻りつしながら、作品を楽しみつつ、昔の様子や、当時の記憶などを留めていきたいと思っておりますので、関連して、「昔ここはこうだった、あそこはああだった」とか、どんなことでも結構ですので、いろんな情報や話題をご提供くだされば大変ありがたく存じます。研究例会・読書会はいつも公開で、モラエスに興味や関心がおありの方、あるいは徳島の魅力再発見をお考えの方など、自由にお気軽に参加していただくことを考えて開いておりますので、若い方々、昔の徳島の姿をご記憶の方々の参加をお待ちしております。

例会・読書会の案内は、研究会のブログ (<http://d.hatena.ne.jp/iasmoraes/>) や徳島大学総合科学部のホームページ (<http://www.tokushima-u.ac.jp/ias/>) にも掲載しておりますので、そちらもご覧いただけましたら幸いです。

平成24年10月31日

研究会例会・読書会： ※日程と会場を変更しましたのでお気を付けください。

日時： 平成24年11月**23日(金)** 10時30分～12時

場所： 徳島大学総合科学部1号館南棟3階 第1会議室

(徳島市南常三島町1-1)

※お車でのご越しになる場合、駐車場(工学部の正門ゲートを通って図書館南側駐車場)が利用可能ですが、できるだけ公共の交通機関をご利用ください(裏面参照)。

なお、ゲートに守衛さんが不在の時には、インターホンで来意をお告げください。

参加費： 無料(申し込み不要)

読書会の内容：

『おヨネとコハル』

(岡村多希子訳、彩流社、2000円+税)

※本については、訳者の岡村多希子先生、並びに徳島日本ポルトガル協会のご厚意とご協力で、2割引でご提供させていただいております。

お問い合わせ先

徳島大学総合科学部

宮崎隆義

電話番号 656-7131

メールアドレス：

miyazaki@ias.tokushima-u.ac.jp

駐車場・会場のご案内



※ゲートのところで、守衛さんが不在でしたら、インターホンを通じて来意を  
告げていただければゲートを開けてもらえます。